

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 神野 公 秀  
幹事 鬼頭 一 浩  
会報委員長 池田 直 樹

2020 ~ 2021年度 国際ロータリー ホルガー・クナーク 会長テーマ

Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3095回例会プログラム

[当年度=12回目; 当月=2週目]

2020年(令和2年)10月12日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉  
12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点 鐘……………〈副会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……………我等の生業  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 副会長挨拶並びに副会長報告  
7. 地区大会 PR (ホスト知立 RC)  
……………地区大会実行委員長  
磯貝 一己 様  
地区大会実行委員 (クラブ会長)  
野々山和彦 様
8. お祝い  
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)  
9. 幹事報告  
10. 出席報告  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(10/19) ……  
クラブフォーラム(米山記念奨学委員会)  
卓話「米山奨学会の現状」  
講師 地区米山記念奨学委員会  
委員長 山田 直樹 様  
(尾張旭 RC)  
(紹介者 横山 宜幸 会員)  
※子ども食堂 (青少年奉仕委員会)  
(10/26) ……  
新会員アワー 岡田 行永 会員  
" 渡部 亨 会員  
※第1四半期皆出席の発表 (出席委員会)
- 13:00 14. 本日のプログラム  
新会員アワー  
西脇 隆 会員  
上田 武司 会員
15. 謝 辞  
16. 点 鐘……………〈副会長〉

## 17. 閉会宣言

13:30 18. 散 会

## ビ ジ タ ー

知立 RC 地区大会実行委員長 磯貝 一己 様  
知立 RC 地区大会実行委員 野々山和彦 様  
(クラブ会長)

## 出 席

会員総数 97名 出席免除 22名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 92名  
欠 席 7名 出席率 92.39%  
前々回 (9/28) の修正出席率 100%

## 副 会 長 報 告

- 1) 9月14日のガバナー補佐訪問に対してのお礼状が、安城ロータリークラブより届きました。

## 幹 事 報 告

- 1) 10月1日より、ロータリーレートは1ドル105円になりました。

## 委 員 会 報 告

## ●社会奉仕委員会

- 1) 本日、日本赤十字より赤い羽根募金の要請がきています。赤い羽根の募金は戦後の昭和22年に始まり募金額は6億円だったそうです。募金ボックスを廻しますので皆様のご協力をお願い致します。

## 副 会 長 あ い さ つ

下谷 敏朗



仕事柄木材の話させさせていただきます。  
皆様のテーブルの上に置いてある飛沫防止パネルの足に使われている木についてお話しします。さてこの木は何の木でしょうか？ これは杉の木です。杉は春になると花粉症に悩まされるといイメージが定着していますが、

日本で最も多く植林され、内地材の中では最も身近な木材であります。杉はもともと日本固有種でありその植林の歴史は古く約500年前の室町時代の吉野林業や北山林業発祥までさかのぼります。

戦後の拡大造林でも日本各地で植林された木材で、国内の樹種の中で最も多い植林面積をほこっています。ちなみに日本の国土の実に約12%が杉の山となっております。

杉は日本で生育する針葉樹の中で非常に大きくまっすぐ育つのが特徴でこの大きさと豊富な資源が古代からの建築を支えてきたと思います。また建築物のみならず杉は非常に多くの使い方があります。古くは弥生時代の水田跡から杉の板が発掘され農業土木資材として使われていたことが分かります。生活用品の特徴的な使い方としては桶や樽があります。

刃物でまっすぐに割りやすい杉の性質を生かして柾目や板目材のパーツを組み上げて、特に吉野杉で桶や樽が作られましたが、これは江戸時代のお酒の運搬で大活躍し、当時の経済を支えていました。他にも食と関わる杉の用途は様々で秋田杉などで作られる「曲げわっぱ」やお酒を飲む枧また割り箸もその多くが杉でした。

ここでまた一つ質問ですが、桶と樽の違いはどこでしょうか？

桶は柾目でできており樽は板目でできております。桶は風呂桶、井戸桶、寿司桶など蓋がありません。柾目板は水分を吸収しやすく温度の変化に強いのです。その耐久性から水を何度も汲んだり流したりする生活用品に用いられていました。一方樽は醤油樽、味噌樽、酒樽など蓋があり貯蔵を目的に使われてきました。板目の板は木繊維が重なり合っており水を通しにくくしております。長期の保存として使われてきました。

次に杉の質ですが、空気を多く含んでいて比重が0.4程度と軽く軟らかくて傷つきやすいですが温かみがあります。見た目は芯材と辺材の色の差がくっきりしています。芯材を赤味、辺材を白太とも言います。芯材と辺材の入り混じった板は源平と呼ばれます。芯材に含まれる抽出成分は水や虫の害に強く建築においては特に耐久性が求められる部分などで重宝されます。日本にはあまりにも多くの杉の産地があり、まるで欧州のワインのように地名を冠にした杉ブランドがあります。著名な産地としては天然林で日本三大美林の「秋田杉」、人工林で有名なのは「吉野杉」、「天竜杉」、京都の「北山杉」、また最古の杉、屋久島の屋久杉等全国で20種類以上あります。

このテーブルの上に置いてある杉は吉野杉で芯材の部位です。これは住宅の鴨居に使われるもので、当然長さは2 m、3 m、4 m なのですが昔の呼び方で6尺9尺12尺という長さになります。ついでにこの鴨居の部位を説明します。木の先の断面部分を木口、ここを見ただけだと年輪の曲がり具合が見られます。この木は芯材でできています。辺材に近いほうを木表、芯に近いほうを木裏と呼び鴨居はこの両面を板目で作ります。

当然横の面は柾目になります。この面のところを木端と呼びます。木表の赤身のある節のない木で、木端が平行な柾目ラインが均等に細かく出ているものが和室の鴨居の中で上級なものとして使われています。マグロでいうと大トロ、中トロの部位です。

杉は高価なものから一転して足場板、足場丸太などなど安価なものまで製品として出材されます。これは間伐材を利用して作っています。

また京都の北山杉のように床柱用の太さに育て、縄を巻き付け絞丸太という床柱も高価な柱として有名です。

この木片も丸太の時点で製材してみないと節が出るかどうかわからない訳で節が出ればただの下地材、節が出ないように製材すれば高価な鴨居となるわけです。そう

いう意味では高度な製材技術が要求されます。

最後に杉にまつわるプチ情報ですがオリンピックの会場新国立競技場は「杜のスタジアム」と題し木をふんだんに取り入れたスタジアムです。このスタジアム周りの回廊になるところに細かく連ねられた軒庇はほとんどが杉の木が使われていて全国47都道府県の杉を集めてそれぞれの地域に向けて並べられています。来年オリンピックが開催されるとして皆様方で行く機会がありましたら是非とも杉の木もご覧になってください。以上副会長挨拶とさせていただきます。

#### 地区大会 PR



地区大会実行委員長(知立 RC) 磯貝 一己 様

#### 卒寿のお祝い

太田 保 会員

#### 銀婚式のお祝い



鬼頭 一浩 会員

#### 水晶婚式のお祝い



近藤 洋一 会員

## お 祝 い

10月の会員の誕生日…太田保、野村重彦、堀正剛、内藤耕造、深谷稔彦、塚本幸夫、室殿豊、新海伸二、山下雅則、土屋和哉、寺田博正会員。

配偶者の誕生日…加藤多津枝（哲也）、下谷裕子（敏朗）、田中恵里子（正之）、出口うつみ（達也）、加藤未友紀（大志朗）、上田玲子（武司）、盛田ともみ（高史）様。

結婚記念日…太田保、堀正剛、盛田豊一、前田孝司、杉浦世志朗、太田宗一郎、加藤真治、新村淳彦、兵藤文男、横山宜幸、黒田栄一、石川泰隆、加藤英樹、深谷嘉英、深谷稔彦、鬼頭一浩、近藤洋一会員。

10月度入会記念日…吉原孝彦、池田直樹、近藤洋一、新村淳彦会員。

## 新 会 員 ア ウ ー

### 西 脇 隆 会 員



本年6月に、伝統と格式のある刈谷ロータリーに入会させていただきました野村證券 刈谷支店長の西脇でございます。本日はこのような貴重な機会をいただきありがとうございます。

生まれは大阪ですが、幼少期に自然豊かな和歌山県新宮市で育ちました。その後大阪に戻り、高校から大学までボート部に所属しておりました。ボート部に入部したきっかけは、高校から始めても全国大会に出場できる可能性の高いスポーツのためでした。その後、多くの後輩の入部もあり高校時代に国民体育大会に出場、大学でも全日本大学選手権などに出場いたしました。学生時代は毎日ボート漬けでした。

社会人になってからは、全国の支店をいろいろと転勤で回ってまいりました。その都度その地域や子供の成長に合わせ、ロードバイクやマラソン、自身も小さい時から好きだったキャンプ等にはまり、充実した休日を送ってまいりました。

家族は6人家族で、9月から2月まで半年間、毎月誕生日があります。また最近、妻がマッサージの資格取得、長男は高校からハンドボール、次男は小学1年生からやっている野球、長女はバレーボール、次女はお人形さん遊びと各々好きなことをしております。

私はコロナの影響で自粛が続く中、今週末の宅地建物取引士の資格取得に向け最後の追い込み中です。結果次第ですが、皆様にご報告できるよう頑張っています。

最後に、相場格言を。腹八分目、頭としっぽはくれてやれ。まさに、たい焼きのようで、頭としっぽにはあんこがなく、株式投資と同じでうまみがない。

刈谷にきて半年、コロナ禍の影響でなかなか活発な活動ができませんが、ロータリー活動を通じ刈谷の地域に少しでも良い貢献ができるよう、積極的に参加していきたいと思っております。今後ともご指導賜れますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

## 新 会 員 ア ウ ー

### 上 田 武 司 会 員



みなさん、こんにちは。6月に「伝統と格式のある刈谷ロータリークラブ」へ入会させていただきました、三菱UFJ銀行の上田でございます。

私は昭和46年5月15日生まれのおうし座で、只今49歳です。出身地は東京都目黒区で、現在は埼玉県浦和に自宅がございます。刈谷支店への

転勤を機に現在は知立の単身寮で生活しております。家族は、妻、大学1年生の長女、中学3年生の長男の4人家族です。

平成6年、当時の三菱銀行に入行いたしました。両親がともに銀行に勤めていたということもあり、幼少期から父が銀行で働く姿を見ており、なんとなくですが自分も就職するときは銀行なのかな、と漠然と考えておりました。

最初に配属になった支店は東京の大森支店。ここで3年半、銀行員のイロハを勉強しました。その後、支店・支社を8場所、本部2場所を経て、本年4月に刈谷支店へ参りました。平成13年には名古屋営業本部で、私にとって最初の愛知県勤務を経験しました。

私は学生時代にボート部に所属しておりました。私がボートを始めたきっかけは中学1年生の春、隅田川で行われたある大学の対抗戦をテレビで見たのが切っ掛けでした。華形種目の「エイト」は時速20キロにもなる高速レースが見どころです。この競技を通して心身ともに鍛えられました。海外遠征には2回、1993年に韓国で開催されたアジア漕艇選手権大会、1995年、毎年イギリスで開催されるヘンレーロイヤルレガッタに出場した経験がございます。

ボート以外の趣味は旅行、ゴルフ、お酒です。家族全員、沖縄の自然が大好きで、沖縄にはよく家族で出かけます。特に宮古島が大好きです。ゴルフは自分でプレーすることに加え、プロの試合を観戦することもあります。お酒は、仙台に赴任した際に東北の美味しい日本酒に数多くめぐり逢い、それ以来、ちょくちょく取り寄せて飲んでおります。

「伝統と格式のある刈谷ロータリークラブ」の一員として自己研鑽を積み、微力ながら地域発展に貢献して参ります。どうぞ宜しくお願いします。